

本年度重点目標 夢や目標を持ち、主体的に学び続得る児童の育成

読書に親しもう～読書旬間（9月1日～9月30日）

9月は読書旬間で読書活動の充実を図りました。子ども達の読書離れが進んでいく中、図書室でゆっくり本と向き合う時間を各学級で設けています。読書にはどんなよいことがあるのでしょうか。まず、本を読むと知らなかったことを知ることができます。知識が増えるということですね。次に、本を読むと自然と頭の中で考えるようになりますから、考える習慣が身に付きます。それから、物語を読んで登場人物の様子やその場の様子を想像したりしますから、相手の気持ちや様子を想像する非認知的な力も向上すると言われています。さらに、素晴らしい本との出会いで自分の生活や考えが変わるかもしれません。将来を決めるかもしれない1冊。読書旬間をきっかけに多くの本に出会えたことを期待します。読書の習慣が身に着けることできたら一生の宝物になると思います。



謝花良幸さんから学ぼう！

4年生は、総合的な学習の時間に「福祉」について学んでいます。視覚的ハンデをもつ謝花良幸さんを招聘して、日常の生活の中で困っていることや身近なことの気づき等、普段私たちが気づかないようなこと等をわかりやすく話していただきました。この講話を通して、4年生の子どもたちが、社会環境や福祉に関心を持ち、生活の中から課題を見つけ、学んだ事を自分の生活や周囲の人のために生かそうとする態度が少しずつ育ってくれることを願っています。



子ども防災アドベンチャークラブ （番外編） 「スニンバンニン厄払いさびら～」

9月20日（日）に長田区公民館で「マジムン大集合」が開催されました。作家・小原猛さんの沖縄の妖怪についてのトークや魔除け（シバサシ）作りや防災カレーを体験。最後は多くの子ども達が仮装し、地域を厄払いしながら各々の仮想で練り歩きました。



素敵な長田っ子の声が響き渡りました！

9月30日（水）長田っ子音楽発表会を行いました。多くの保護者や地域の方に参観していただいたことに嬉しく思います。子どもたちの歌声は本当に素敵なものです。「やってみたい」を実現した独唱・重唱・アンサンブル、各学年の工夫を凝らした合唱や演奏等どれも見事な内容の音楽発表会となりました。子ども達が輝くステージに見に来て励ましてくれた保護者や地域の皆様に改めて感謝申し上げます。



